

今月23日(金)の九小祭でも、和太鼓クラブは演奏を披露してくれます。地域のお祭りや催しに出かけ、みんなに元気を届ける和太鼓クラブの活動は九小ならではの取組です。よき伝統を引き継ぐとともに、新たな九小のよさも、みんなで見つけられたらいいなと思っています。

<朝会で話した主な内容> テーマ:「和太鼓クラブのよさとおもてなし」

九小の和太鼓クラブが、10月20日の土曜日、一番町みんなのコンサートに出演しました。9月は、阿豆佐味天神社や敬愛ホームのお祭りに出演し、7月から毎月、大勢の保護者や地域の方を楽しませてくれています。朝練習に励み、九小の伝統を受け継ぎ、自信をもって演奏する姿がとても立派でした。

和太鼓クラブのよさは、チームで作り出す力強い太鼓の響きや礼儀正しさ、一人一人が一生懸命かける掛け声です。掛け声がチームの絆や気持ちを高め、素晴らしい演奏につながっています。

日本の太鼓の歴史はとても古く、天岩戸に隠れた神様に出させていただくために、桶を伏せて音を鳴らした話や太鼓を打つ人の埴輪が見つかっています。和太鼓がこれだけ揃っている学校は、なかなかありません。日本の文化に触れられる九小のよさを、これからも大事にしてほしいと思います。

コンサートでは、松中小学校や第七中学校の吹奏楽部も演奏し、どの学校も特色を大事にして練習に励んでいることが分かりました。また、子供たちが笑顔ではきはきと演奏の説明をする姿から、演奏を楽しんでもらいたいという「おもてなし」の心を感じました。「おもてなし」とは、表裏のない心で心を込めて接すること、皆さんも笑顔と思いやりの心を大切にしてください。

<感想>

- 1 和太鼓クラブの人は、朝練習もして、イベントでは地域の人々を楽しませておもてなしをされていて、すごいと思いました。九小和太鼓の歴史を和太鼓クラブは受け継いでいて、すごいと思いました。私も和太鼓クラブの人みたいにみんなを楽しませて、おもてなしをできるようになりたいです。
- 2 心に残ったことは、伝統を守るということです。理由は、和太鼓が昔から日本にあったということを知らなかったことと、伝統を守るのは大切だと思ったからです。今、九小祭で売るために、伝統野菜を育てているので、これからも大事にしていこうと考えました。
- 3 おもてなしとは、表と裏がないことなんだなと思いました。自分も、表と裏がないようにしていきたいと思っています。
- 4 神社でのお祭りにも行き、そこで和太鼓を演奏して人を喜ばせ、楽しくさせることができる。和太鼓を通じて、人と人とが通じ合えるのは、すごいと思いました。
- 5 おもてなしの意味が、表裏関係なくありがとうを伝えるという意味だって初めて知った。おもてなしの意味を踏まえて、すごく大切な言葉だと思った。和太鼓も市民の人たちを喜ばせていると思った。
- 6 心に残ったことは、思いやりのことです。和太鼓クラブが20日、土曜日に地域の皆さんに笑顔をお届けしたと聞いたからです。今後、私はまわりの人に笑顔になってもらえるようになりたいです。
- 7 心に残ったことは、九小の伝統のことです。九小の伝統に和太鼓があることで、多くの人が太鼓を叩いてきたと思うからです。九小の和太鼓を守り続けるといいと思います。
- 8 和太鼓のかけ声のお話のときに、確かに、かけ声は大切だなと思いました。運動会でやったピラミッドのときも「1、2、3、4、5、6、せーの!」とかけ声を出して、成功したからそう思いました。
- 9 心に残ったことは、和太鼓で地域の人々を楽しませていることです。和太鼓は、1700年くらい前から伝わっていることだと聞きました。7月から毎月お祭りで、和太鼓を演奏していることはすごいと思いました。私は、みんなの前で演奏するのはとても緊張しますが、和太鼓クラブの人はすごいと思いました。
- 10 和太鼓は、すごく昔からあるというのにびっくりしました。なぜかという、伝統文化じゃなく、普通の文化だと思っていたからです。ほかにも、どんな伝統文化があるか調べてみたいです。